



(右) ハナカタバミ 学名:Oxalis bowiei
カタバミ科 カタバミ属 花言葉:心で感じる
(左) ツワブキ 学名:Farfugium japonicum
キク科 ツワブキ属 花言葉:困難に負けない

表紙の写真

今回は、老人保健施設 清華苑養力センター南側の敷地に咲いている花をピックアップしました。ピンク色の花は、ハナカタバミ（オキザリス）です。日当たりが良い場所を好み、曇っていたり日陰になっていたりすると花を閉じます。黄色の花は、ツワブキです。清華苑には四季折々綺麗な花がたくさん咲いています。ご来苑の際には、いろんな場所で咲いている花をぜひご覧になって下さい。(広報室)



社会福祉法人 三幸福社会

清華苑

miyukifukushikai seikaen

当法人では、この度ロゴマークと法人名と施設名をセットで表記する新たなロゴタイプのデザインを決定しました。

新たなロゴタイプと共に社会福祉法人としての使命を全うすべく、職員が一致団結してこれからも取り組んでまいります。

今後とも宜しくお願いします。





はな華
HanaHana

社会福祉法人 三幸福社会
広報誌「はな華」

第4号
2019年12月15日発行

Pick Up!
「学校との連携」

総務部長 田村智之
介護職員 中里桃子
介護職員 押部なつき
介護支援専門員 大中由宣



当法人では近隣の大学、専門学校、高校や中学校と連携を図っています。例えば授業への講師派遣、実習生、インターンシップ生の受け入れや実習指導者交流会に参加しての意見交換などがあります。連携の目的は、学生のみならず「福祉」という仕事の魅力を発信していくことです。次代の福祉を支えるマンパワーが一人でも多くなって欲しいと願い、自分たちにできることを考えながら連携を図っています。同時に職員にとっても「伝える」という行為を通してスキルアップの良い機会となっています。

(総務部長 田村智之)



神戸医療福祉専門学校との連携 長島愛生園を尋ねて

神戸医療福祉専門学校における授業の中で人権教育として、「ハンセン病の歴史を知る」という内容での講義を行いました。その際、介護福祉士学科長の由良先生と授業外で長島愛生園への見学実習の必要性について協議を重ねました。当法人の職員四名も職員研修の一環として見学実習に同行する事となり、神戸医療福祉専門学校で学生十二名と共に見学実習に参加しました。



老人保健施設
清華苑養力センター
介護支援専門員
大中由宣

高丘中学校との連携 未来の介護福祉士へ

この度、高丘中学校三年生の全クラス(四クラス)に対して授業を行いました。授業をする事になったのは、私が高丘中学校のトライやるウィーク発表会に参加した時に家庭科の先生から相談を受けたことがきっかけです。授業の内容は、高齢者の特徴の説明や高齢者体験、福祉用具の紹介、バリアフリーやユニバーサルデザインについて一緒に考えました。最近では将来の夢がユーチューバーなど、個性的な職種が多いので介護という仕事にあまり興味を持って貰えないのではないかと感じていました。しかし、授業をしてみると、生徒達は、とても真剣に話を聞いてくれました。

見学実習に参加した学生からは、「ハンセン病について知ることができ、興味がもてました。今までテレビでしか聞いたことがなく、感染する病気という程度は知っていた。しかし、感染力が弱く、治る病気であることは知らなかった。行くまではハンセン病の方はいかかわりそうなどのイメージがありました。長島でみんなと一緒に力を合わせて生活し、橋をかけたリ高校を作ろうと声をあげて、何十年もかけて叶えた事実を知り、その強さを感じた。周りにいる人に話し、伝えることは自分にもできることだと思う。」といった感想を聞きました。

平均年齢が八十五歳を超え、子孫がいらない人権被害の被害者である元患者には、語り継ぐ時間があります。社会問題に目を向け、関心を寄せることが差別や偏見を解消する一歩となります。

保健、福祉、医療など我々福祉職を取り巻く、環境は法制度により規定されています。常に新しい知見を吸収し、世の中をより良い状態に、社会福祉の実践にあたる

私が思っていた以上に福祉について詳しくて驚きました。いつかになりたい職業で介護が人気になったらいいなと思います。

(介護職員 中里桃子)

私たちと中学生とは十歳も年が離れていることもあり、「学生からみた高齢者」と「私達からみた高齢者」では、世代によって高齢者に対するイメージが異なっている事に気づきました。授業を終えて私は、「中学生にとって理解出来るように伝えるにはどうすれば良いか」という事を改めて考える機会になりました。これを機に高齢者福祉に興味を持つ人が増え、未来の介護福祉士がたくさん生まれる事を願っています。

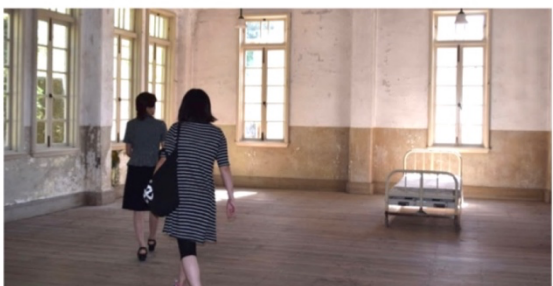
(介護職員 押部なつき)

必要性を再認識しました。これからの仕事に大いに役立てていきたいと思えます。そして、法人の力添えによって、「先生らしいこと」ができたように感じています。

(介護支援専門員 大中由宣)



記事の詳細については、以下のQRコードからホームページ「学校との連携」をご覧ください。



ここに来れば安心だと思っ頂けるようなサービスを目指しています

グループホーム 清華苑ポータルピア 日常生活の中で運動を取り入れる

清華苑ポータルピアでは、ご利用者の身体機能を維持し自立した日常生活を送る事を目標に、当法人の老人保健施設に勤務するセラピストから定期的な助言と指導を受けています。身体を動かす事を毎日の日課の中に取り入れ行っています。具体的な内容は、階段昇降、屈伸運動、棒体操や腹筋運動などです。ご利用者の状態によっては、短時間で行える簡単なプログラムを中心に実施するなど工夫もしています。運動を継続することで、立ちやがみがスムーズにできるようになった方や、歩行状態が改善された方もおられます。ご利用者の良い変化に職員も一緒になって喜びを分かち合っています。一人では乗り気でない方も他の方と一緒にであれば頑張れるようで数人で行う体操も楽しくできています。

「マット敷いてもらっ頂いてですか?」と、職員がお声掛けすると、「いいよ、いいよ」と丁寧な準備をしてくださいます。ご利用者の生活の中の運動が浸透してきていることを実感する、そんな今日の頃です。これからも体力づくりに頑張りますようね。

(管理者 岡本栄美)



※セラピスト (作業療法士、理学療法士等)

グループホーム 清華苑ポータルピア
明石市大久保町大窪544-11
TEL 078-1934-3800

提供するサービスは自然で心暖かいものをめざします

訪問介護 清華苑ホームヘルプステーション 心の拠り所になれるように

訪問介護の仕事を始めたのは、平成十一年の秋でした。ヘルパー二級の資格を取り、清華苑に就職させていただきました。二十二年が過ぎました。多くの方に支えられ、多くの仲間と沢山助け合ってきたながら、仕事を続けることができて、とても感謝しています。

訪問介護をご利用される方は、一人暮らしの方が増える中、老々介護のお宅も増えてきました。ご家族が遠方で生活されている方、近くにお住まいでも病気や障害があり、親宅にすぐには訪問できないご家族もおられます。それぞれの生活環境、生きてきた時代や社会状況、皆それぞれが違っていて当たり前ののだと、改めて勉強させて頂いています。

仕事を通じて、『こんな風に(考え方)、齢を取っていい

らいいな。』と、思えることが多々あります。また苦難を乗り越えてこられた方のお話には、『なるほど!』と思えることも多々あります。

ヘルパーの滞在時間は短いのですが、ヘルパーの訪問が特別な事ではなく、ほんのひと時でも和む時間でありますように、安楽な時間でありますように・・・そう思っ頂けるようにこれからも訪問させて頂いていただきます。

(管理者 間処浩美)



ご利用者様が家族の様に可愛がっているピー助。みんなの人気者です。

清華苑ホームヘルプステーション
明石市大久保町駅前2丁目12-6
TEL 078-1938-0990

共用型認知症対応型通所介護 清華苑らんらん 新たな場所で、新しい仲間とともに

清華苑らんらんは、昨年五月より新たに「共用型」のデイサービスとなりました。グループホーム清華苑の活動スペースでご利用者と一緒に日中を過ごしています。

調理レクリエーションやホーム内行事、喫茶外出など、グループホームのイベントへ随時参加して頂いています。グループホーム清華苑入所へのお試し期間として、ご利用頂くことも可能です。職員や他のご利用者顔なじみの関係を構築する事が出来るので、入所してからの戸惑いや不安を軽減する事ができます。

少人数の為、その方に合った過ごし方が可能です。ご利用者からのリクエストで卓球大会を開いたり、お天気が良い日には、お散歩に出かけたり。何よりもご利用者のペースに合わせて対応していく事



共用型認知症対応型通所介護 清華苑らんらん

明石市大久保町江井島1648-15
TEL 078-1937-18470

地域に信頼と安心をお届けします

清華苑の訪問リハビリ 在宅での生活に寄り添いながら

訪問リハビリは、ご利用者の自宅を訪問し心身機能の向上や日常生活動作の向上を図るお手伝いをしています。日々、地域のご利用者の生活を評価させていただき新しい発見に巡り合い、刺激を受けながら働かせていただいています。

ご利用者の在宅生活を直接評価出来るということは、セラピストにとってはとても貴重な体験です。リハビリでは筋力トレーニングや歩行練習だけでなく、在宅での家事動作や日常生活を送るために必要な動作練習を行います。私が入職当時に担当していたご利用者は、現在、特養で穏やかに過ごされています。あの当時は想像もできませんでしたが、在宅生活から施設生活に移行しても、ご利用者の生活が変わらず続いているのだ

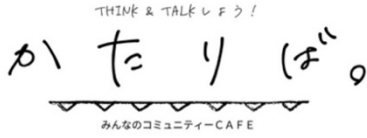
ということを知ることができました。

これからも安心して在宅生活を送っていただけるように切れ目のないサービスを提供させて頂き、皆様の生活に寄り添ってまいります。

(理学療法士 青木晴子)



清華苑の訪問リハビリ
明石市大久保町大窪3107-15
TEL 078-1934-0070



社会福祉法人 三福祉会 清華苑と赤穂市の関西福祉大学が協力して、語る場「かたりば。」を始める事になりました。自由に自分の思いを「語る場」は、きっと学生の皆さんにとって新しい発見があると思います。毎回、様々なテーマで中高大生や大学の教員、福祉業界で働く職員が集まり、気軽に楽しくお茶会の様な雰囲気の中でワイワイと語り合える場を創っていきたいと思います。

開催日時やテーマについては、以下の特設サイトをご覧ください。

<https://care-h.wixsite.com/kataribastudy>

対象者：中学生、高校生、専門学校生、大学生

場所：小規模多機能型居宅介護 大久保苑

住所：明石市大久保町大窪544-1

参加申込みは、右記のQRコードからフォームに必要事項を入力して送信して下さい。

※開催日の前日まで申込可能です。



初回参加特典！
オリジナル紙コップホルダーをプレゼント★



スタ★ボラ STUDY & VOLUNTEER

学生のみなさんに小規模多機能型居宅介護 大久保苑の使用していない時間帯のフロアを自習室として開放します。学校の宿題や試験勉強など、どうぞご利用下さい。そして、希望される方はボランティアも体験する事が出来ます。スタッフのサポートを受けながら高齢者の話し相手やちょっとしたお手伝いをします。少しの時間でも構いません。誰かが喜ぶ姿を見てみませんか。そして、「ありがとう」があふれる体験をしてみませんか。

○スタディ（自習） 申し込み不要／16時から18時までの間／1階フロア

○ボランティア 申し込み要／16時から19時までの間／2階デイルーム

参加申込は、上記のQRコードからフォームに必要事項を入力して送信して下さい。開催日の前日まで申込可能です。

ゴスケ × 永楽堂 NEW! オリジナルせんべい完成!!

明石たこせんべいで有名な永楽堂さんをお願いして、法人オリジナル玉子せんべいを作って頂きました。法人公式キャラクターのゴスケがお菓子になって登場です。いろいろな機会の皆様にお配りさせて頂きたいと思っています。（注：永楽堂さんの店頭では販売はしていません）



清華苑オリジナル冊子

「心温まる15のエピソード」より抜粋
(冊子ご希望の方は職員までお知らせ下さい)



心温まるエピソード

私が清華苑に入職するきっかけとなったのは、祖父母の影響が大きかったからです。仕事をしていた本当に意味がある仕事をしているんだなと感じたのは、自分の身内が実際に介護となった時「介護」という物がどういう事なのか分からない家族にとつて私はとても頼もしい存在だと言われた事でした。縁があつて自分の身内母親の祖母を自分が働いている特養へお願いする事となった時は本当にありがたい気持ちと複雑な気持ちが入り混じっていました。職場の人には自分の身内だという事は最初の頃は伏せてももらっていました。なぜかと言うと自分の身内だという事で周りが気を遣いともやりにくいのではないかと思つたからです。実際は、そんな心配をする必要もなく、人当りが良く元気な祖母は瞬く間に職場のスタッフの人気者になりました。祖母は人のお世話をしたり、冗談を言つて人を笑わせたりするのが好きで、顔色が悪い職場の職員を見つけると他の職員を捕まえて「この子、顔色悪いからあんた掃除変わったって」と言つたり、私

がまだ独身なのを気にして職場の結婚している男性職員を捕まえて「あなた、この子どないや」と言つたりと毎日が笑いの絶えない日でした。仕事に行けば祖母が笑顔で「おはよう」といつてくれる。帰りは私が見えなくなるまで「気をつけて帰りよ」と手を振つて見送ってくれる。そんな人がいるという幸せを職場という場所で贅沢でつかみ始めていました。元氣だった祖母もターミナルを迎える事となり、正直私は心の整理ができませんでした。最後を見送るという事がどんなに辛い事が、今まで近くにいた人がいなくなつてしまふという悲しみ。静養室で祖母に最後の食事をあげながら「ありがとうな」とか細い声で言われた時は特養で一緒に過ごした思い出があふれ出て涙が流れました。ちようど亡くなる前は七夕があつたので、願い事が聞けるかどうか分かって喜んでいましたが、祖母に願ひ事の確認をしてみました。すると、祖母は、小さな声で「皆が幸せになりますように」と言いま



これは、今まで暖かく祖母をサポートしてくれた職場の皆に感謝を述べていたのだと思います。身内を最後まで介護し見送るという貴重な時間を過ごす事ができたのは、特養の全スタッフの協力があつてだとも感謝しています。祖母も幸せだったと思います。ありがとうございます。

徳田 芽久美

特別養護老人ホーム 清華苑 介護チーフ